

リーダーシップ研修

1. 研修の目的

管理・監督者として発揮すべきリーダーシップとは何か、について理解し、そのリーダーシップを発揮するために必要な心構えとスキル、ノウハウを学ぶ。

2. 研修内容

対象者: 管理・監督者

	内 容
9:00	オリエンテーション ～研修の目的と内容について理解する～ 1. 周りからの期待を考える 組織から期待されていること、部下から期待されていることを考える 2. リーダーシップとは何か？ 1) リーダーシップの高い人といったら、誰が思いつか？何故その人のリーダーシップが高いと思うのか？などのテーマに基づき議論をする 2) リーダーシップとは一般的にどのようなことかを理解する。 (リーダーシップとは、周りによい影響を与え、より良い方向への行動を促せる力) 3) リーダーシップ論を理解する(PM理論、SL理論、コンティジェンシー理論など) 3. 事例研究 1) 上位者が話していることを真剣に聞こうとしない部下のケース 2) 部門間の協力を取ろうとしない部下のケース
12:00	
13:00	4. リーダーシップを高めるための仕組み① ～自部署の方向性を示す～ 1) 自部署の使命を明文化し、部下に語る。 2) 自部署の3年後のビジョン(中期目標とありたい姿)を明確にし、部下に語る ※ワークシートを用いて、実際に職場で活用できるレベルで「自部署の使命」と「ビジョン」を明確にする。 5. リーダーシップを高めるための仕組み② ～重点課題を明確にする～ 1) 自部署の使命とビジョン及び外部環境・内部環境の変化から自部署で取り組む単年度の重点課題を決める。 2) 重点課題から目標を設定する。 ※ワークシートを用いて、実際の職場で活用できるレベルで「重点課題」を明確にする。 6. リーダーシップの源泉 ～リーダーシップを高める心構えとは～ 1) リーダーシップを高めるためのいくつかの考え方・行動の仕方を理解する。 ※「心は言葉によって作られる」、「プラスの発想をすることの大切さ」、「部下にない視点を与える」、「自分を律する(他責にしない)」、「失敗から学ぶ」など。 7. 研修の振り返り&今後の行動宣言 1) 本日の研修を振り返り、今度どんなことに取り組んでいくのかを決める。 2) それを継続して取り組んでいける仕組みを考える。
16:30	8. 講師講評